

# 地域プロジェクト

自由科目 開講年次：1年次～4年次（通年） 科目区分：演習 単 位：2単位 講義時間：60時間

■**科目のねらい**：地域の概念やしぐみ・札幌市の特徴について理解を深め、地域社会に貢献する意義を学び、実際に地域の活性化を目指した活動を行うことにより、人間性を養い、デザイン学および看護学の基礎となる学びを得る。また、COC関連科目（スタートアップ演習や学部連携基礎論、学部連携演習）と並行して、学年を問わず開講するため、いつでも地域社会の活動に参加する機会が得られる。

■**到達目標**：①地域の概念やしぐみ・札幌市の特徴について理解を深める。  
②社会に貢献することを理解し、活動の方法を考え、計画することができる。  
③社会貢献活動を実践することができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎中原 宏 他未定

◎定廣 和香子 他未定

■**授業計画・内容**：

Section 1. 地域活動を理解する デザイン学部・看護学部共通内容

1. オリエンテーション／札幌市のまちづくり・地域活動について
2. 地域プロジェクト事例／ボランティアとは
3. 特別講義・公開講座への参加 2回

Section 2. 地域プロジェクトを計画する

<デザイン学部の学生>

・COC関連イベントの企画、地域デザインコンペへの応募、華梵大学合同ワークショップ、その他の地域プロジェクト

<看護学部の学生>

・COC関連イベントの企画、Health care関連ボランティア、まちの健康応援室サポート、その他の地域プロジェクト

Section 3. 地域プロジェクトを実践する

Section 4. 報告会準備

Section 5. 報告会

■**教科書**：特になし

■**参考文献**：適宜参考資料を提供する。

■**成績評価基準と方法**：小テスト・授業内レポート（Section 1.のe-ラーニングによる小テスト）20%、授業態度（活動の態度や言動・活動計画・記録、報告会にむけての準備）40%、発表20%、課題・作品（Section 2.の企画書、最終レポート）20%、出席状況（Section 1.の受講状況、活動受け入れ先の実施証明書、報告会の参加状況）から総合的に評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート	○	○		Section 1.のポイントを理解していること。	20
授業態度	○	○	◎	活動記録や活動受け入れ先の評価	40
発表			◎		20
課題・作品		◎	○	Section 2.の企画書および、最終レポートの内容を含む	20
出席	○	○	○	2/3以上の出席	欠格条件
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：スタートアップ演習、学部連携基礎論、学部連携演習、札幌を学ぶ、ボランティア活動を考える、学外実習A（インターンシップ）

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：Section 1.の講義は、芸森・桑園・COCキャンパス（遠隔講義）、e-ラーニングで受講することができ、受講後は、e-ラーニングで関連した設問に回答する。  
Section 2. とSection 3.は、デザイン学部と看護学部それぞれで活動内容が異なる。学生は、担当教員と面談の上、活動内容を決定し、計画を立案する。毎回、活動記録および活動受け入れ先の実施証明書を提出する。